

総務産業常任委員会報告

○一般会計補正予算

**Q** コロナ禍において、事業が中止になったものがある。その影響額等把握しているか。また、今後の対応は。

**A** 新生活様式は今後も続くと思われる。ウェブ会議等が推進されていくかとも考える。それに対する減額、あるいはほかの新様式への増額も考えられる。集計、分析して対応していく。

**Q** 大型事業がかなり続き基金が年々減っている。今後の見通しは。



牟礼壁添地区水門改修

**A** 計画的な見通しをもつて積み立てを行っている。

**Q** 耐震補助、老朽危険家屋の問い合わせ状況は。

**A** 耐震補助問い合わせ8件。

耐震性のない住宅（昭和56年6月以前の住宅）については、耐震性がない可能性が高いという文書をダイレクトに送る計画を考えている。老朽危険家屋事業は、本年度の解体は12件。順調に伸びている。

**Q** 持続化給付金等は減額になっているが、ほぼ完了したのか。

**A** 申請期間は当初1月末までとしていたが、2月末まで延長。

国、県の支援が遅い方は、理由を確認し支給したい。

**Q** 荒廃森林再生・整備事業で国から追加配分があった。現時点で目標面積のどれくらいをカバーしているか。

**A** 荒廃している山が何ヘクタールか把握できていない。毎年調査し、要件にあった山を整備している。現在全体の山の



一條前川原地区転倒堰

35%を荒廃森林再生・整備事業で実施している。

**Q** 創業や販路開拓の事業者への給付状況は。

**A** 少なくとも10件は、新規創業やその他の事業等で使った。

ただいている。非常に需要は高いと感じており今後も検討していく。

**Q** 小水力発電事業の場所はどこか。また、防災にどのような効果があるのか。

**A** ダム堤防下の広場に発電機設置予定。委託業者より、上広校区の全行政区に非常時の備蓄品を配布したいとの提案があっ

案されている。

防災効果は、停電の際発電施設の電力を活用する。備蓄品も防災効果がある。

売電の15%を町にいただく。備蓄品も個別に60万円いただくなど経済効果もある。

**Q** 免許証返納でふれあいタクシーの利用券をいただいている。使い勝手が悪いという意見がある。別の方法を検討していないのか。

**A** 商品券とかを検討した。今後協議会等にお諮りしたい。

**Q** ふるさと納税の歳入7000万円、歳出6400万円だが年度を通しての歳入歳出の差額はどのようにされるか。

**A** 寄付から返納金の費用、配送料、手数料を差し引き、残りを積み立てている。



吉常下樋口地区水路改修

※写真は現地調査の様子